

## 治療した部位と治療方法

### 1 問診診察結果 (メリーゴーランド)

- (1) 全く動かない
- (2) 診察結果は。電源部の液漏れによる酷い錆付き
- (3) 配線や IC 等の部品は写真のように綺麗でした。

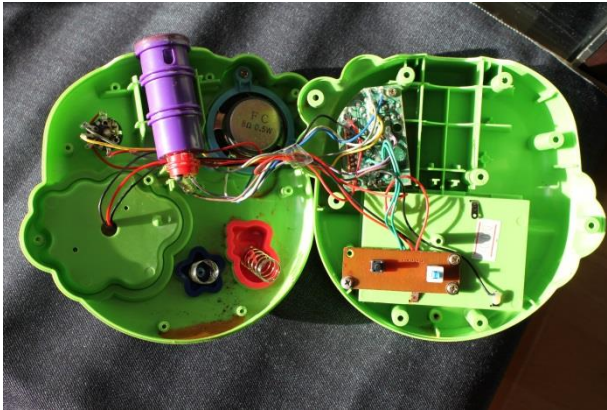


図-1 内部の状況 左下は錆の液



図-2 外観

### 2 治療の方法

- (1) 電源部の金属は、写真のように酷く錆びていた。負極の当たるスプリングバネは錆びてはいるが、根元もしっかり固定されていて、磨けば大丈夫と判断した。  
ただし、導通は、抵抗 2.6 ほどあった。極板の錆びていないところで裸線を半田して負極のスプリングバネに巻きつけて、所々半田して導通を良くした、抵抗は 0.8 に減少した。

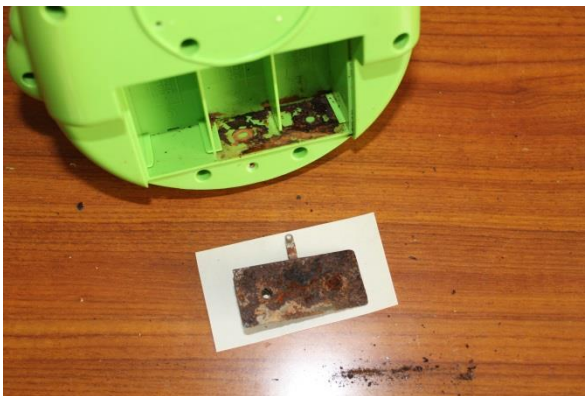


図-3 手入れ前の極板と取り付け部

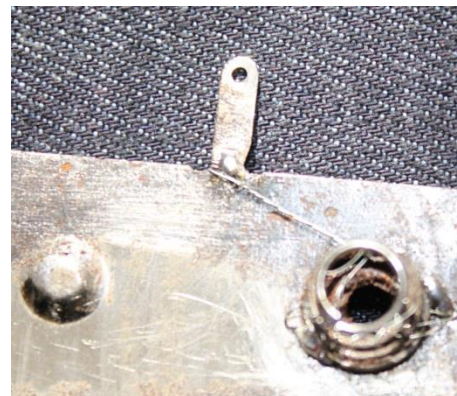


図-4 手入れした後の極板

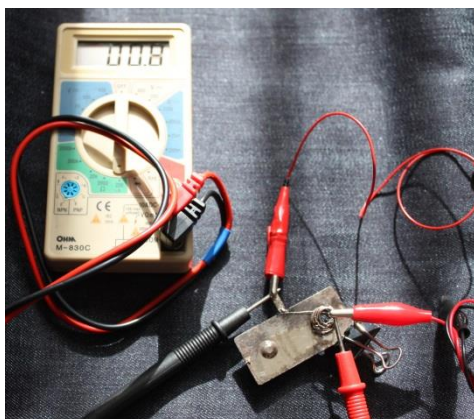


図-5 工夫後の抵抗 0.8



図-6 正極の極板の錆



図-7 落とした錆の量

- (2) 極板は、綺麗にヤスリと布ペーパーで磨き、グリースを塗布して錆予防をし、電池 BOX の中でも錆が染込むほどになっていたのを磨き組み立てた。
- (3) その後、電池を入れてスイッチ入れると、正常に作動した。  
内部の配線・部品も綺麗で異常はないようである。これをもって完成とする。



図-8 参考



図-9 参考

### 3 ドクターからのアドバイス

長く使用しない時には、電池ボックスから電池を取り出して置くように致しましょう。

お渡しした日： 平成28年2月13日

担当ドクター： 谷 春 雄